

事務事業点検・評価報告書

（令和元年度事業分）

相生市教育委員会

— 目 次 —

1	はじめに	1
2	事務事業評価について	2
3	令和元年度 教育委員会事務事業評価結果一覧	8
4	第三者評価対象事業	14

1 はじめに

(1) 点検・評価について

教育委員会における事務事業の点検・評価については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

このため、相生市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、令和元年度における本市の教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い報告書としてまとめました。

(2) 実施方法について

事務事業の点検・評価の方法は、相生市が毎年実施している行政評価システム（市長部局で実施している市全体の事務事業を対象とした評価システム）を活用しています。

(3) 点検・評価の方法

点検・評価を行う事務事業については、教育委員会が実施した全ての事務事業について検証を行います。

その方法は、事後評価とし、各事業に対する住民等のニーズからその事業実施後の結果・成果を総合評価したうえで、更にその事業の今後の方向性の評価を行います。

結果については、数値化し、今後の方向性については、具体的な方針を示しております。

(4) 第三者評価について

相生市行政評価システムにおいて、その評価の客観性及び信頼性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する者を含む外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を提言することを目的に実施しております。

なお、全ての事業に対し評価するのではなく、第三者評価委員会より指定された事業について、評価するものとしております。

このため、教育委員会の事務事業についても、第三者評価の対象として指定されております。

2 事務事業評価について

(1) 事業の種類

事業の性質に応じた評価を行なうため、次の9種類に分類して評価を行います。

事業の種類		定 義
①	法定受託事務	自治事務以外の国や他の地方公共団体から委託されて代行して行う事務
①	ソフト事業（義務）	法令等により実施が義務付けられた事業
②	施設維持管理（補修）事業	ソフト事業を実施しない施設や道路、公園等の維持管理（補修）事業
③	内部管理事務	直接的な市民サービスの提供を伴わない内部的、定型的な業務
④	ソフト事業（任意）	市が自主的に実施する市民サービス事業（施設管理運営事業を含む）
⑤	補助金・負担金事業（ソフト事業）	補助金・負担金交付の形態で実施する市民サービス事業（施設等整備事業に分類される事業を除く）
⑥	施設等整備事業	市民利用施設の建築、道路や公園等の整備事業、情報システムの構築事業
⑦	施設等整備事業（補助金・負担金）	補助金・負担金交付の形態で実施する⑥の施設等整備事業
⑨	実績把握のみの事業	予算事業が一般事務経費等の直接的な事業が伴わないもの（事業費及び人件費の実績値のみを把握する）

(2) 評価項目

事後評価として、各事業の課題をより明確化するために、住民等のニーズから事業実施及びその結果・成果までの行政活動の一連の流れを「妥当性」「有効性」「効率性」の3つの視点に細分化して、各項目を5～1の5段階で評価します。

評価項目		評価の具体的な内容
事後評価	妥当性	「目的の妥当性」「市民ニーズ」「市の関与の妥当性」「公共性」「緊急性・優先性」の観点から 5 ～ 1 の 5 段階評価
	有効性	「成果目標（改善）達成度」「期待する目標」「成果の向上」「上位施策への貢献度」「市民サービス」「組織運営・適正管理」「関係（根拠）法令等から見た効果」の観点から 5 ～ 1 の 5 段階評価
	効率性	「コストの節減」「負担割合の適正化」「手段の最適性」「執行体制の効率性」の観点から 5 ～ 1 の 5 段階評価
進捗状況		各年度における事業の進捗度合いを全体の中から 5 ～ 1 の 5 段階により判断する 5：目標を超える進捗が見られる 4：目標通り事業が進んでいる 3：目標には達しないが問題なく進捗している 2：事業の一部に滞りがある 1：計画の見直しが必要 の 5 段階評価

○妥当性とは

社会経済情勢や市民意識の変化にあわせ、行政関与の考え方は大きく変化していますので、市が行う必要性（例えば、国や県の仕事、民間で実施、地域・家庭・個人がその役割を担うべき等）、時代の変化等の視点で点検し評価をします。

○有効性とは

費用対効果の視点で事務事業の在り方、手法を検証します。事業の目的、その事業の意図する目標・成果を明確にし、事業成果の指標を設定・測定します。

○効率性とは

事業の活動結果に対して事業費、人件費で単位コスト、受益者負担等を算出し、各事業の効率を評価することにより、より効率的な行政運営をするためのものです。

(3) 評価指標

評価に関しては、指標を設定することで、定性的でわかりづらい行政の活動や仕事の成果、達成度などを把握できます。

評価表で設定する指標には、「有効性を測る指標」と「効率性を測る指標」があります。

区 分	指標の名称	内 容
有効性を測る指標	成果目標（改善）指標	行政サービスの成果を数値で表したもの
効率性を測る指標	単位コスト	事業の実施結果（利用者、参加者等）や活動結果（開催日数、回数等）に要する1単位当たりコスト

(4) 評価における判断基準（5段階）

区分	妥当性	有効性	効率性
5 極めて高い	上位の事務事業や施策の成果向上に不可欠な事業であり、妥当性を見直す余地がない。	・目標値は、到達目標に近い、高いレベルのもので、しかも達成できた。 ・実績値が前年度と比較して大きな伸びが見られた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。	・極めて大きなコスト節減効果が見られた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。
4 高い	上位の事務事業や施策の成果向上に必要な事業であり、妥当性を見直す余地が少ない。	・目標値の達成ができた。 ・実績値が前年度と比較して伸びた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。	・コスト節減効果が見られた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。
3 変化なし	現時点では実施の必要性等妥当性に変化はない。	・目標値の達成はできなかったが、実績値は前年並みを維持できた。 ・目標値の達成ができ、実績値も前年並みを維持できた。 ・その他の観点における変化は特に見られなかった。	・コストは前年度と変化がなかった。 ・その他の観点における変化は特に見られなかった。

2	低い	事業の目的の変化や実施の必要性が低下しており、将来的に廃止・統合に向けた検討が必要である。	・目標値の達成はできなかった。 ・実績値が前年度と比較して低下した。 ・その他の観点において低下した事項があった。	・コストは増加した。 ・その他の観点において低下した事項があった。
1	かなり低い	事業の廃止・統合に向けた見直しが必要である。	・目標値をかなり下回った。 ・実績値が前年度と比較してかなり低下した。 ・その他の観点においてかなり低下した事項があった。	・コストは大幅に増加した。 ・その他の観点においてかなり低下した事項があった。

(5) 方向性評価

評価項目		評価の具体的な内容
方向性評価	方向	継続：令和2年度以降も引き続き実施 廃止：令和元年度で廃止 廃止予定：令和2年度以降で廃止が予定 完了：令和元年度で完了 完了予定：令和2、3、4年度で完了予定 統合：見直しにより令和2年度に他事業に統合
	成果	上記「方向」を「継続」とした事業について 令和2年度以降の成果を「拡大」「維持」「縮小」の区分で評価
	総コスト	上記「方向」を「継続」とした事業について 令和2年度以降の総コストを「拡大」「維持」「縮小」の区分で評価
	優先度	上記「方向」を「継続」とした事業の貢献度や、必要性について 5：極めて高い 4：高い 3：普通 2：低い 1：かなり低い の5段階評価

(6) 第三者評価

ア 評価対象

ヒアリングの対象は、次の基準により事務局において選出した下記の8事業を対象といたしました。

◎相生市もっと活力上昇計画記載の地域創生関連事業（6事業）

◎市が単独で行う自主事業（2事業）

教育委員会としては、下記の事業が第三者評価の対象となりました。

令和2年度第三者評価対象事業

事 務 事 業 名	課 名
相生市文化会館管理運営事業	教育委員会生涯学習課
レクリエーションスポーツ振興事業	教育委員会体育振興課

イ 評価視点

下記の具体的視点により評価を行いました。

(ア) 成果の視点

- ・評価指標の設定は妥当か、関連性があるか。
- ・指標設定が困難な場合において最適なものを代替指標としているか。

(イ) 妥当性の視点

- ・市及び教育委員会が実施する目的は明確か、国・県や民間等との役割分担の観点から当該事務事業を市が行う妥当性・必要性はあるか。
- ・市民ニーズは、高いか。

(ウ) 有効性の視点

- ・評価指標の数値は計画値を達成しているか。
- ・計画・目標設定が高すぎないか、あるいは低すぎないか。
- ・成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はあるか。
- ・市民サービス向上の改革改善効果が見られるか。

(エ) 効率性の視点

- ・コストを削減する努力をしているか、削減する余地はあるか。
- ・受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はあるか。
- ・委託や指定管理者制度の導入、補助事業化など、サービスを下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はあるか。
- ・当該事務事業が個別目標・施策実現のための手段として最適か。

(オ) 総合、方向性の視点

- ・過去の行政評価結果が生かされて、PDCAサイクルが機能しているか。
- ・課題・懸案事項に対する今後の展開方針は妥当か。
- ・今後に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か。

(カ) 地方創生の視点

- ・目標数値は妥当か
- ・目標達成のための手段が適切に講じられているか。またその見込みがあるか。
- ・地方創生への効果が期待できるか。

3 令和元年度教育委員会事務事業評価結果一覧

取り組み事項	担当課名	事務事業名	令和元年度			事後評価				優先度	課 題	改善内容	方向性		
			人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	進捗状況				方向	成果	コスト
多様な保育サービスの充実を図る	生涯学習課	放課後児童保育事業	48,334,789	13,611,897	61,946,686	5	5	4	4	5	学級によっては人手不足のところもあり、人材確保は急務である。	教員・保護者と連携し、情報共有をして、様々な児童に対応していく。	継続	拡大	拡大
学校給食の充実と食育の推進を図る	学校教育課	学校給食運営事業	107,579,159	110,991,752	218,570,911	5	4	4	4	3	小学校7校での自校給食調理体制を見直し、人件費を含むコスト削減について検討する。	単独調理校である那波小学校、矢野小学校給食室を廃止し、調理業務を他の5校の給食室に集約する。	継続	維持	維持
家庭・地域・学校の連携を深める	生涯学習課	学校支援地域本部事業	1,867,669	225,900	2,093,569	4	3	3	3	3	登録ボランティアの確保。	ボランティアに地域住民が入ることで、地域の教育力が活性化される。	継続	維持	維持
確かな学力の定着を図る	学校教育課	小学校一般事務経費	21,364,509	42,980,437	64,344,946	-	4	4	4	3	各小学校の規模や地域性を活かした学校運営を行うために、配当予算を有効に執行する。	新学習指導要領に対応するため、GIGAスクール構想を踏まえたICTの環境整備を進める。	継続	維持	維持
		中学校一般事務経費	3,010,109	18,046,696	21,056,805	-	4	4	4	3	学習指導要領改訂を見据えた各校での予算執行を徹底する。	学習指導要領改訂を見据えた各校での予算執行を徹底する。	継続	維持	維持
確かな学力の定着を図る	学校教育課	指定教育等研究研修事業	1,261,509	765,655	2,027,164	4	4	5	4	3	学習指導要領改訂に伴う、研修体制の再構築及び環境整備を進める必要がある。	中学校教科書採択の結果を踏まえ、教材研究を進める。	継続	維持	維持
		中学校外国人英語指導助手招致事業	1,363,509	4,670,815	6,034,324	5	4	4	4	3	英語教諭と外国人指導助手とのチーム・ティーチング体制の確立。	中学校英語部会を中心に、外国人指導助手の活用について検討する。	継続	維持	維持
		ぐんぐん学力アップ事業	1,488,829	802,160	2,290,989	4	4	4	4	3	全国学力学習状況調査を含む、継続的な評価・分析を行う。	小中一貫の視点での、結果分析・指導の継続。	継続	維持	維持
		英語教育推進事業	1,557,109	7,255,920	8,813,029	5	4	4	4	4	中学2・3年生を対象に、英検IBAテストを実施した。受験時期やテストのレベル等について各中学校や英語部会と連携し、再検討を要する。	英検IBAテストをについて、各中学校や英語部会と連携し、より効果の高い手法を検討する。	継続	拡大	維持
	管理課	小学校特別支援教育就学奨励事業	1,025,029	882,432	1,907,461	-	5	4	4	3	普通学級の補助対象者についても、学校等と連携し情報把握に努める必要がある。	必要な情報や制度の周知など、速やかに各学校及び対象者へ発信する。	継続	維持	維持
		中学校特別支援教育就学奨励事業	1,025,029	275,550	1,300,579	-	5	4	4	3	普通学級の補助対象者についても、学校等と連携し情報把握に努める必要がある。	必要な情報や制度の周知など、速やかに各学校及び対象者へ発信する。	継続	維持	維持
豊かな心の育成を図る	学校教育課	心豊かな体験活動推進事業	1,261,509	1,876,660	3,138,169	4	4	4	4	3	生徒が希望する職種での体験を実現させるため、事業者の確保に努める必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、実施時期・内容等を十分検討の上、実施する。	継続	維持	維持
		適応教室事業	1,991,009	2,071,847	4,062,856	4	4	4	4	3	入室している児童生徒の、個々の課題に応じた支援を充実させる。	支援体制を維持し、継続的な支援を行う。	継続	維持	維持
		相生っ子ががやき顕彰事業	906,789	17,594	924,383	4	3	3	4	3	文化芸術に関する表彰候補者の把握について、各小中学校と共通認識のもと徹底を図る。	なし	継続	維持	維持

取り組み事項	担当課名	事務事業名	令和元年度			事後評価				優先度	課 題	改善内容	方向性		
			人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	進捗状況				方向	成果	コスト
豊かな心の育成を図る	学校教育課	創意ある学校園づくり推進事業	965,909	2,215,000	3,180,909	5	4	4	4	3	「みんなの学校事業」の幼小中一貫の取り組みについて、各中学校区で目的を共有し、連携体制を強化する必要がある。	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を計画する。	継続	維持	維持
		小学校体験活動事業	1,261,509	6,620,000	7,881,509	4	4	4	4	3	各小学校区の規模や地域性等の特色を活かした計画の立案を徹底する。	各小学校においてコロナウイルス対策を踏まえた、計画・事業実施を徹底する。	継続	維持	維持
健やかでたくましい体づくりをする	学校教育課	学校医等委嘱事業	1,312,509	13,045,300	14,357,809	-	4	4	4	3	学校医が担当する学校園数や園児・児童・生徒数に偏りがある。	相生市医師会等と協議し、学校医の適正な配置を行う。	継続	維持	維持
		児童・生徒等健康管理委託事業	1,608,109	5,502,177	7,110,286	-	4	4	4	3	相生市医師会等との検診日程等の調整を円滑に行う。	コロナウイルス感染症対策を徹底し、児童生徒の健康の保持・増進に努める。	継続	維持	維持
		学校健康センター事業	2,204,509	1,990,095	4,194,604	-	3	4	4	3	軽傷等の通院日数が少ない怪我の、給付申請件数が低調なため、保護者に制度の理解を深めていただく必要がある。	入学説明会の際に、保護者への制度周知を行う。	継続	維持	維持
健やかでたくましい体づくりをする	学校教育課	クラブ活動運営事業	1,409,309	1,566,860	2,976,169	-	4	4	4	3	部活動指導が可能な地域人材の確保が難しい。	部活動指導員を活用した指導体制の確立に向け、各中学校と連携し事業の推進を図る。	継続	維持	維持
		学校教育ペーロン祭協賛事業	1,409,309	445,600	1,854,909	3	3	4	4	3	なし	なし	継続	維持	維持
		学校体育振興事業	1,016,909	4,891,690	5,908,599	4	3	4	4	3	なし	相生市中学校体育連盟と連携し、コロナウイルス感染症対策を徹底した事業実施に努める。	継続	維持	維持
教育施設を整備する	管理課	小学校管理事業	3,722,469	57,596,596	61,319,065	-	4	3	4	3	パソコン更新を進める上で、セキュリティについて高める必要がある。	学校教育課と連携しながらセキュリティポリシーを策定する。	継続	維持	維持
		中学校管理事業	3,485,989	25,323,372	28,809,361	-	4	3	4	3	パソコン更新を進める上で、セキュリティについて高める必要がある。	学校教育課と連携しながらセキュリティポリシーを策定する。	継続	維持	維持
		学校教育施設整備基金事業	433,829	2,008,701	2,442,530	-	4	4	4	3	長期的な改修計画のなかで、基金の使用計画を検討する必要がある。	今後の施設改修計画において、基金目的に合致する事業に財源として検討する。	継続	維持	維持
		幼稚園管理事業	2,953,909	35,473,795	38,427,704	5	4	4	4	5	国の働き方改革により、女性の就労率が上昇していることによる就園率が低下している。	共働き世帯であっても短時間勤務の世帯などが就園可能なサービスを検討する。	継続	維持	維持
		小学校施設整備事業	4,467,309	24,730,859	29,198,168	5	4	5	4	3	施設の老朽化により、修繕の必要性が増加している。	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。	継続	維持	維持
		中学校施設整備事業	3,166,669	238,288,327	241,454,996	5	4	5	4	3	施設の老朽化により、修繕の必要性が増加している。	生徒の安全を最優先に考え、その上で優先順位を持って改修を進める。	継続	維持	維持
教育施設を整備する	管理課	幼稚園施設整備事業	2,841,509	57,127,980	59,969,489	5	4	4	4	3	施設の老朽化が進んでいる施設もあり、修繕の必要性が増加している。	園児の安全確保を優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。	継続	維持	維持

取り組み事項	担当課名	事務事業名	令和元年度			事後評価				優先度	課 題	改善内容	方向性		
			人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	進捗状況				方向	成果	コスト
教育の機会均等を確保する	管理課	小学校要・準要保護児童就学援助事業	1,084,149	1,516,858	2,601,007	－	5	4	4	3	対象世帯に情報が届くような周知方法が必要である。	ホームページ及びチラシ等での情報周知を図る。	継続	維持	維持
		中学校要・準要保護生徒就学援助事業	1,084,149	2,971,659	4,055,808	－	5	4	4	3	対象世帯に情報が届くような周知方法が必要である。	ホームページ及びチラシ等での情報周知を図る。	継続	維持	維持
		相生市奨学金事業	1,291,069	560,000	1,851,069	5	5	4	4	3	現状にあわせた見直しを行い、事務の効率化を図る。	規則改正も含めて検討する。	継続	維持	維持
		小学校通学費補助事業	906,789	468,370	1,375,159	5	5	3	4	3	現状の手段で課題等はない。	現状を維持する。	継続	維持	維持
		中学校通学費補助関係事業	788,549	134,244	922,793	5	5	4	4	3	適応教室通学者も対象としており、現状では課題等はない。	現状を維持する。	継続	維持	維持
子どものやる気を引き出す教職員を育成する	学校教育課	教育研究所運営事業	1,845,259	2,700,905	4,546,164	4	4	4	4	3	学習指導要領の改訂に伴う、研修内容・体制等の見直し。	学習指導要領の改訂に伴う、研修内容・体制等の見直し。	継続	維持	維持
子どもの育成環境の充実を図る	学校教育課	矢野・若狭野小学校交流事業	1,409,309	68,200	1,477,509	4	4	3	4	3	事業計画が固定化されつつあるため、児童数や学年、ニーズに応じた計画を立案する必要がある。	なし	継続	維持	維持
		相生市小中一貫教育推進事業	1,704,909	110,339	1,815,248	5	5	4	4	3	先進地視察や、事例研究により得た情報・成果を教職員へ、フィードバックする体制を構築する必要がある。	幼稚園を含めた、幼小中一貫の取り組みを推進する。	継続	維持	維持
	管理課	預かり保育事業	7,535,349	565,925	8,101,274	5	5	3	5	5	利用者増により有効性のある事業となっているが、それに伴う指導員の確保が課題である。	預かり保育指導員の資格について、学童保育を参考にするなど検討する。	継続	維持	維持
		市立幼稚園保育料軽減事業	433,829	0	433,829	5	5	5	4	－	－	－	廃止	－	－
生涯にわたって学べる体制を整備する	生涯学習課	生涯教育企画調整事業	374,709	1,978,120	2,352,829	－	4	3	3	3	公民館運営審議会と内容が重複する部分があり、統合した。	社会教育委員会との連携を図る。	継続	維持	維持
		相生っ子学び塾事業	4,252,869	3,295,410	7,548,279	4	4	3	3	3	珠算の対象を拡大したことにより、講師一人当たりの対象児童数が増え、細かい指導が困難になった。そのためボランティア講師の確保が急務である。	外国語が教科となったため、これまで以上に基礎学力の定着は必要となっている。授業が遅れている児童が取り残されないように細かい指導を行っていく。	継続	維持	維持
サービスの充実を図る	生涯学習課	公民館管理事業	6,298,469	16,264,554	22,563,023	－	4	4	4	4	施設の老朽化による管理費の増大が課題。	トイレの洋式化や空調の改修を行い、幅広い年代が利用しやすい施設となるようすすめていく。	継続	維持	拡大
		多目的研修センター管理事業	1,583,109	4,032,781	5,615,890	－	4	4	4	3	施設の老朽化が課題。	施設のバリアフリー化を図る。	継続	維持	維持
		図書館管理運営事業	14,075,769	39,818,390	53,894,159	－	4	4	4	3	市内各施設に設置している図書返却箱により利便性が向上しているがより有効に利用してもらえるよう図る。	開館時間延長、祝日開館の周知をさらに図る。	継続	維持	維持

取り組み事項	担当課名	事務事業名	令和元年度			事後評価				優先度	課 題	改善内容	方向性		
			人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	進捗状況				方向	成果	コスト
サービスの充実を図る	生涯学習課	公民館活動事業	8,363,659	13,674,253	22,037,912	4	4	3	4	4	市民ニーズに合わせた事業を行う。	公民館だより等で広報の充実を図る。	継続	拡大	維持
		多目的研修センター活動事業	2,703,329	2,603,382	5,306,711	4	4	3	4	3	主催事業の参加者増に努める。	ホームページなどで、広報の充実を図る。	継続	維持	維持
		図書館活動事業	7,092,219	7,863,382	14,955,601	4	4	5	5	3	学校、公民館図書室等の連携の促進を図る。	指定管理者による事業、図書選定など注意深く見守る。	継続	維持	維持
青少年健全育成体制を整備する	生涯学習課	青少年育成補助金事業	552,069	185,000	737,069	3	4	4	3	3	少子化により会員数が減少傾向である。	団体の活動に対する検証を続け、団体の存在を周知する。	継続	維持	維持
青少年活動の機会や場の充実を図る	管理課	こども学習センター管理事業	2,347,309	64,577,336	66,924,645	4	4	4	4	3	施設の老朽化により改修箇所が増加しているが、適切な優先順位を持って改修を進める。	利用者の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。	継続	維持	維持
	生涯学習課	青少年育成事業	4,262,029	724,772	4,986,801	4	3	3	3	5	少子化により、成人式対象者が減少している。参加率を上げるために、成人式の内容を実行委員会と話し合っていく。	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で実施している。	継続	拡大	拡大
		放課後子ども教室推進事業	3,077,949	1,630,394	4,708,343	4	4	4	4	3	児童6人に対してサポーターが1人になるように地域ボランティアの確保。	未来を担う子どもたちに、伝統的な遊び等を体験できるような環境を整備する。	継続	維持	維持
補導活動や相談体制の充実を図る	学校教育課	補導委員活動事業	965,909	1,487,920	2,453,829	-	4	3	4	3	関係機関の役割を明確にし、協力体制を維持する。	補導委員会総会等の場で、関係機関と現状課題、本年度取り組みの共有を徹底し、事業を推進していく。	継続	維持	維持
地域ぐるみで健全育成を推進する	学校教育課	青少年問題協議会運営事業	1,409,309	106,400	1,515,709	-	4	4	4	3	なし	なし	継続	維持	維持
		青少年健全育成活動事業	965,909	6,229,054	7,194,963	-	5	4	4	3	なし	なし	継続	維持	維持
市民文化活動を振興する	学校教育課	芸術文化活動振興事業	522,509	0	522,509	2	1	3	3	3	なし	なし	継続	維持	維持
	生涯学習課	スポーツ・文化芸術顕彰事業	404,269	105,600	509,869	4	3	3	3	3	情報把握の効率性、正確性を高めている。	各文化団体などとの情報共有に努める。	継続	維持	維持
市民文化活動を振興する	生涯学習課	芸術文化振興補助金事業	788,549	1,120,000	1,908,549	4	4	3	4	3	高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。	継続	維持	維持
文化事業を実施する	生涯学習課	芸術文化振興事業	5,210,989	2,524,604	7,735,593	4	4	4	4	3	文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるように見直しを行う。	継続	維持	維持
文化施設の充実を図る	生涯学習課	相生市文化会館管理運営事業	21,959,359	55,533,327	77,492,686	4	4	4	5	5	より多くの人に関心を持ってもらえる、魅力的な事業の検討が必要。	効率的な周知方法を検討する。	継続	維持	維持

取り組み事項	担当課名	事務事業名	令和元年度			事後評価				優先度	課 題	改善内容	方向性		
			人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	進捗状況				方向	成果	コスト
文化財の保存と活用を図る	生涯学習課	文化財運営事業	2,676,159	1,406,084	4,082,243	4	4	4	4	3	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていくか。	史跡パンフレットや歴史講座、史跡めぐりなどの資料館事業をとおして、市民に市内に残る文化財のPRを行う。	継続	維持	維持
		資料館管理事業	4,359,649	2,578,224	6,937,873	4	4	4	4	5	施設の有効活用を図るとともに、貴重な資料を保存する環境を整える。	引き続き資料館の展示物の入替や特別展を実施するとともに、歴史講座等の市民参加型の事業を実施する。	継続	拡大	拡大
スポーツ施設の整備を行う	体育振興課	市民体育館管理事業	3,295,309	9,621,867	12,917,176	-	3	3	3	3	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所として機能するため、設備の充実を図る必要がある。	施設の良好な状態を保ちつつ、有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。	継続	維持	維持
		市民プール管理運営事業	965,909	6,152,200	7,118,109	-	4	4	3	2	施設が老朽しており、有効な維持管理が求められる。	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。	継続	縮小	維持
		市民グラウンド管理運営事業	3,239,109	17,777,594	21,016,703	-	3	3	3	3	施設の一部が老朽化しており、不調の早期発見に努め、対処する。	使用実態に即した委託管理を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。	継続	維持	維持
		温水プール管理運営事業	2,769,069	22,951,370	25,720,439	-	4	4	4	3	利用者が多い施設であるため、安定確実な稼働を確保する必要がある。	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	継続	維持	維持
スポーツ活動の支援・充実を図る	体育振興課	社会体育計画管理事業	2,015,289	160,830	2,176,119	-	3	3	3	3	委員構成の若返りと女性委員割合を増やしていく必要がある。	なし	継続	維持	縮小
		スポーツ活動推進事業	5,528,549	2,188,885	7,717,434	4	4	4	4	3	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。	各事業の一人当たりに係る必要事業費等を抑えつつ、有効な事業費の執行に努めていく。	継続	維持	縮小
		ジュニアスポーツ振興事業	5,453,189	1,380,000	6,833,189	4	4	4	4	4	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響がでている。	関係団体との連携、調整により日程や事業内容を充実させる。	継続	拡大	維持
		レクリエーションスポーツ振興事業	6,850,309	3,844,578	10,694,887	4	3	4	4	3	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。	多世代で楽しめる「アジャタ」では市民大会開催や、地域、職域への貸し出しを行い、未経験の方に参加の機会を提供する。	継続	維持	維持
		スポーツ教室事業	1,577,909	765,760	2,343,669	4	4	4	4	3	教室開催時期以外にも自主的にスポーツができるよう普及促進を図る必要がある。	教室開催のPRを積極的に行い、新規参加を促す。	継続	維持	維持
スポーツ活動の支援・充実を図る	体育振興課	スポーツ・文化芸術顕彰事業	2,296,109	93,100	2,389,209	4	4	4	4	3	受賞資格が明確になっている。	対象者の的確な把握を行うこと。	継続	維持	維持
スポーツリーダーを育成する	体育振興課	スポーツ推進委員事業	2,820,069	3,217,400	6,037,469	-	4	3	4	3	地域スポーツリーダーの確保や育成が重要であり、多様な種目、地域から委員を選出し、組織の新陳代謝を図っていく必要がある。	組織として活動の安定を図りつつ、将来を考慮した効率的な配置を行い、コストの削減を図る。	継続	維持	維持
人権啓発活動を推進する	人権教育推進室	人権啓発事業	6,286,709	7,778,209	14,064,918	4	4	4	4	4	学習会や講演会のテーマ、啓発紙の内容に新しい人権課題や市民のニーズを反映させ、市民各層の学習の機会の拡充を図る。	国や県、社会の動向と市民のニーズの把握をもとにした人権啓発を展開し、幅広い年齢層に対応した啓発活動に努める。	継続	維持	維持
人権教育を推進する	人権教育推進室	人権教育事業	9,242,709	2,638,315	11,881,024	4	4	4	4	4	児童生徒や市民への教育活動の効果を高めるために、教職員、行政職員の人権意識の高揚を図る研修を継続、充実させる。	第5次総合計画の指標「人権が尊重されている市」と感じる市民が増えるよう、児童生徒の人権意識を高める教職員の育成を継続する。	継続	維持	維持

取り組み事項	担当課名	事務事業名	令和元年度			事後評価				優先度	課 題	改善内容	方向性		
			人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	進捗状況				方向	成果	コスト
生きがいづくりを推進する	生涯学習課	高齢者教育事業	2,353,949	1,180,140	3,534,089	5	3	4	3	3	学習を通して地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする。	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で開講している。	継続	維持	維持
その他	学校教育課	教育統計調査事業	848,709	26,000	874,709	-	4	4	4	3	他の調査との整合性がとれていない入力値が散見された。	学校管理職、入力担当者が共通認識のもと事務処理及び確認作業を行うよう指導する。	継続	維持	維持
		学校教育課一般事務経費	1,137,429	1,337,609	2,475,038	-	4	4	4	3	学習指導要領改訂に伴う様式等の変更を見据え、コスト削減に繋がる手段を学校と協議し、改善を図る。	学習指導要領改訂に伴う教育環境整備に取り組む。	継続	維持	維持
	管理課	教育委員会事業	3,341,109	2,969,442	6,310,551	-	5	5	5	5	現状を維持していくことが最適である。	地方教育行政の組織及び運営に関する法律等に基づき、当市の教育行政の安定と推進を図っていく。	継続	維持	維持

4 第三者評価対象事業

(1) 評価対象事業 結果比較

事 務 事 業 名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
相生市文化会館管理運営事業	継 続	継 続	継 続
レクリエーションスポーツ振興事業	継 続	継 続	継 続

(2) 第三者評価ヒアリング個別シート

事務事業名	相生市文化会館管理運営事業
評価結果	☒ 継 続 ☐ 拡 大 ☐ 縮 小 ☐ 廃 止
【評価理由】 文化芸術活動を提供する場である文化会館を管理運営することは、市民の文化芸術活動の支援に必要な事業であるため、継続とする。 自主事業においては、市民ニーズの把握や利用者への情報発信等を行うことで参加者の増加を目指し、文化の向上につながる事業を検討いただきたい。 今後は現在の社会情勢を加味しながら、新しい運営方法を検討し、文化・芸術に触れる機会を維持するとともに、歳出削減につながる方策を研究し、効率的な運営に努めていただきたい。 《指摘事項》 ○「文化の向上を図る」という目的に沿った事業内容を再考すること。 ○利用者からのアンケートや意見収集のための方法を検討すること。 ○指定管理制度導入も慎重に判断しながら、将来的なビジョンをたてること。	

事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 誰もが気軽に取り組み、仲間とともに楽しみながらできるレクリエーションスポーツの普及、振興はこれからの社会を見通す上で有効な事業といえるため、継続とする。 一方で、実際は高齢者向けの種目が多いように感じ、市民全体を対象としているとはいいがたい現状に思える。レクリエーションスポーツの普及か健康維持か、目的を明確にし、目的に沿った取り組み内容を検討いただきたい。 さらに、ホームページや広報紙などでも十分にPRすることで、限定的ではない開かれた事業となるよう進めていただきたい。 《指摘事項》 ○有効性はアウトカム指標を検討すること。 ○事業の目的、目標に沿った事業内容を再考すること。 ○目標値をもっと高く設定すること。 ○年代別の参加者数などを把握し、事業内容に反映すること。	